※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | 109 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選　現代文Ｂ　新訂版」（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「キーワード漢字　２７００」（浜島書店）<br>「新訂総合国語便覧」（第一学習社）<br>「国語常識のトレーニングノート 国語必携 ライトパーフェクト演習〈三訂版〉SPI・公務員試験対策収録」　（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生の現代文では、高校までの国語学習の総まとめとして、語彙・読解・表現・コミュニケーション等総合的な国語の力を見に付けることを意識します。
・１２年生での発表や感想文、読書レポートの経験を踏まえた上で、グループワークを取り入れた取り組みを行います。
・様々な文章を読むことはもちろんですが、特に近代以降の評論に重点を置き、日本の近現代史における代表的な知性に触れて一端を理解することを目標のひとつとします。
・評論や近代の文章を理解するために、語彙力を身に付けることも重要です。
・さまざまな進路に対応するために、副教材や小テストを用いて語彙レベルを高めます。
・１２年生に比べると、高校生にとっては難解な題材も増えてきますが、辞書や副教材を活用して国語力の総合的なスキルアップを目指しましょう。

## ２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 必要な情報を用い、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、語彙・知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | 行動の観察<br>（発表等のパフォーマンスの評価） | 記述の確認及び分析<br>（ワークシート、原稿用紙） | 記述の確認及び分析（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

※令和３年度以前入学生用

| |
|---|
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 評論(一) | 教材:<br>「こころは見える？」 | ○ | | | ○ | ◎ | a:「こころ」のあり方について、自分の考えと引き比べながら、読み進めようとしている。<br>d:文章の構成や展開を理解し、文意を正確に読み取ることができる。<br>e:「文楽」や「歌舞伎」に関して大まかな知識がある。 | a:行動の観察及び記述の点検<br>d,e:記述の確認及び定期考査 |
| | 小説(一) | 教材:<br>「赤い繭」 | ○ | | | ◎ | ○ | a:小説を読むことを楽しみ、作品の内容について自分の考えを深めようとしている。<br>d:場面の展開に即して、主人公の心の移り変わりをとらえている。<br>e:作者についての知識をもっている。 | a:行動の観察<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |
| | 評論(三) | 教材:<br>「心に「海」を持って」 | ○ | | | ◎ | ◎ | a:論理の展開のしかたや要旨をとらえ、教材文論述の優れた点を読み取ろうとしている。<br>d:「心に海を持つ」とはどういうことかを、読み取っている。<br>e:日本と異文明とのかかわりについて、大まかな歴史的知識をもち、インターネットの普及など、現代の社会状況についても適切な理解をもっている。 | a:行動の観察及び記述の点検<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |
| | 随想 | 教材:<br>「浄瑠璃の春」 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a:教材文の表現を、自身の表現にも生かそうとしている。<br>c:教材文を参考としながら、構成や表現を工夫して詩や作文を書いている。<br>d:「僕」「妻」「寺の娘」の心情を的確に読み取っている。<br>e:作者についての知識をもっている。 | a:行動の観察<br>c,d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 評論(三) | 教材:<br>「「である」ことと「する」こと」 | ○ | | | ◎ | ○ | a:筆者の視点の置き方や発想のおもしろさに興味を持って取り組んでいる。<br>d:「である」と「する」の対比をとらえ、それぞれの具体例として何があがっているかを理解している。<br>e:封建社会のあり方や、近代化による社会の変容について、おおまかな知識をもっている。 | a:行動の観察<br><br>d:記述の確認及び定期考査<br><br>e:小テスト及び定期考査 |
| | 評論(四) | 教材:<br>「猫は後悔するか」 | ○ | | | ◎ | ○ | a:言語哲学に関する内容の文章に興味をもって内容を理解しようとしている。<br>d:「論理空間」と「分節化された世界」との関係がどのようなものか、記述によって把握し、「猫」が「後悔しない」理由について、的確に読み取っている。<br>e:ウィトゲンシュタインについて、大まかな知識がある。 | a:行動の観察<br><br>d:記述の確認及び定期考査<br><br>e:小テスト及び定期考査 |
| | 小説(三) | 教材:<br>「待つ」 | ○ | ○ | | ◎ | ○ | a:作品の構成を把握し、小説を読み深めるおもしろさを味わおうとしている。<br>b:「私」が何を待っているかについて、自分の意見を積極的に述べたり、話し合いに意欲的に参加したりしている。また、他人の意見を尊重して聞いている。<br>d:「私」が待っているもののイメージを把握し、どのような心持ちで待っているかについて理解している。<br>e:この作品が書かれた時代の背景について理解している。 | a,b:行動の観察及び記述の点検<br><br>d、e:<br>記述の確認及び定期考査 |
| | 小説(三) | 教材:<br>「舞姫」 | ○ | | ○ | | ○ | a:文語体の作品に興味をもって取り組み、文章のリズムや響きを味わいながら鑑賞しようとしている。<br>d:エリスに出会ってからの主人公の心境の変化・境遇の変化を読み取っている。<br>e:なじみのない漢語などの意味を、注や辞書を手がかりにして理解している。 | a、d、e<br>:行動の観察及び記述の点検 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 小説(三) | 教材:<br>「檸檬」 | ○ | ○ | | ◎ | ○ | a:作品に描かれた美的世界を味わい、作者の繊細な感性をとらえようとしている。<br>b:作品を読んで考えたことを、わかりやすく文章にまとめている。<br>d:丸善に檸檬を置いてきた「私」の意図と、その後の「私」の気持ちを想像している。<br>e:作者についての知識を持っている。 | a,b:行動の観察及び記述の点検<br><br>d,e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |
| | 言語活動 | 教材:<br>「短歌･俳句」 | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | a:短歌や俳句の特色を理解し、興味をもって親しもうとしている。<br>b:短歌や俳句の特色を踏まえながら、「春」の歌を発表することができる。また、人の発表を傾聴し、感想を伝えることができる。<br>c:心に残る歌や句を選んで、感じたことや考えたことを、適切な形でまとめている。<br>d:短歌や俳句の歴史・伝統・形式を理解している。<br>e:短歌や俳句についての基礎的な知識を持っている。 | a、b、c、e<br>:行動の観察及び記述の点検 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。